

平成30年度 海南市立下津第一中学校スクールプラン

和歌山県が
めざす教育

和歌山県がめざす将来像
「世界とつながる
愛着ある
元気な和歌山
～県民みんなが楽しく
暮らすために～」

教育分野における将来像
「未来を拓く
ひとを育む和歌山」

海南市の
教育の基本方針

- 1 確かな学力を育成する
- 2 豊かな心や感性を育む
- 3 健康でたくましい心と体を育てる
- 4 社会の一員としての自覚を育てる
- 5 教育における重要課題の解決に取り組む
- 6 学校運営を改善・充実させ、教師としての資質・能力を高める

【学校教育目標】
「地域と関わりながら主体的に行動し、
心豊かにたくましく生きる子どもの育成」

【努力目標】

- ・生きる力を育てる
- ・学習への積極的な態度を育てる
- ・豊かな心を養う
- ・精一杯取り組む態度を養う
- ・体力と気力を鍛える
- ・家庭・地域との連携の強化を図る

本年度の努力点

幼小中連携した教育を進める

- 幼小中教職員の交流を促進し、連携を強化する。
- 児童会・生徒会活動の合同の取り組みを活発にするとともに、その取組を通して、自ら高め合う集団をつくる。
- ・小中合同の研究授業・研究協議を実施
- ・月に2回は、生徒会と児童会の合同の行事を実施

主体的に学び、個を生かす学習活動の展開

- 「自ら学ぶ授業」への工夫改善を図る。
- TT、少人数指導の充実を図る。
- ・生徒アンケートの「学校の授業がわかる」の項目で90%以上
- ・生徒アンケートの「授業で自分の考えを発表することができる」の項目で80%以上
- ・個に応じた指導（補習）を実施

基本的な生活習慣の確立

- 礼儀正しいあいさつ、言葉遣い、所作に留意させる。
- 時間を守る態度を育てる。
- 家庭との連携を強め、生活習慣の確立を図る。
- ・生徒アンケートの「あいさつができています」の項目で95%以上
- ・生徒連絡帳(日記)の有効活用

防災・安全教育の推進

- 大災害を踏まえ、生徒が主体的に行動しようとする知識・判断力・行動力を身に付けるための学習・訓練を行う。
- ・年に3回は、避難訓練を実施
- ・津波避難3原則（①「想定にとらわれるな」②「最善をつくせ」③「率先避難者たれ」）の徹底指導
- ・応急手当及びAED使用方法を含む心肺蘇生法の習得

道徳教育の充実

- 視聴覚教材・読み物教材（希望へのかけはし等）を活用し、新学習指導要領の内容を取り入れるなど、指導の工夫改善をする。
- 体験活動を積極的に取り入れる。
- ・「道徳の時間」の授業の充実
- ・学期に1回は、道徳的な体験活動を実施

総合的な学習の時間の充実

- 総合的な学習の時間の学習を通じて、発達段階に応じた自らの生き方を学ばせる。
- ・生徒、保護者アンケートの「総合的な学習の時間」の肯定評価90%以上

教育相談活動の展開

- 子ども一人一人の理解に努め、個に応じた指導の充実を図る。
- 全職員の共通理解のもと、温かみのある人間関係や情操を育てる。
- スクールカウンセラーの相談活動の充実を図る。さらに、教職員との連携のもと、よりよい生徒指導に努める。
- ・下津小6年生の児童把握のための授業参観を実施
- ・月に1回は、スクールカウンセラーを交えて不登校や問題を抱えた生徒について話し合う会議を実施

環境美化の推進

- 心を磨く清掃をめざして取り組む。
- 整理整頓に努め、教室などを知的な学習環境（空間）に整える。
- ・清掃は自身の生活を創っていく基本となることを再認識
- ・生徒、教職員全員で行う清掃活動

食育の推進と体力の向上に取り組む

- 学校給食等を中心とした「食育」を進める。
- 部活動を充実させる。
- 運動部の再編を検討する。
- 体力向上につながる環境整備に努める。
- ・給食指導の充実
- ・体力テストの結果が、実施種目中2/3で全国平均以上

保護者・地域との連携

- 学級新聞・学校だより・ホームページなどで、保護者や地域に情報を公開する。
- 「しものつ子どもを育てる会」等の協力を得て、地域の人を招いたり、地域に出向いたりすることにより、地域との交流を深める。
- ・学校新聞・保健だよりは毎月、学級・学年通信はできるだけ発行
- ・ホームページの充実
- ・学期に1回は、地域と交流する行事を実施
- ・コミュニティスクール設立に向けた準備

【めざす子ども像】

- 自ら学び、学力を高めようと努力する子ども
- 心豊かで、自分も他人も大切にしている子ども
- 生き生きと積極的に活動する子ども
- 強い身体とたくましい心を持った子ども

【めざす学校像】

- 心の通い合う活力ある学校
- 清潔感に満ちた品位ある学校
- 信頼される開かれた学校